大潟村 議会だより

vol.165
2026年（令和８年）
10月15日発行







毎年恒例の水上スキー
大学選手権大会





水上スキー体験会

9月 定例会　会期 ９月８日～18日

●議会改革調査特別委員会 最終報告 … 2
●令和８年９月定例会 …… 5
●決算特別委員会 …… 6
●議会常任委員会審議 …… 9
●一般質問９名 …… 12
●総括質疑 …… 17
●村のあの人この人 …… 20
●審議結果一覧 …… 20

発行：大潟村議会（TEL 45−2587／FAX 45−2266）
編集：議会広報編集委員会
《ホームページアドレス　https://www.vill.ogata.akita.jp/genre/parliament》

議会動画配信中

議会の動画配信がパソコン・スマートフォンで見られます。
村ホームページからアクセスできます。議会だよりとあわせて動画もご覧ください。

議会改革調査特別委員会　最終報告

定数２減
次期改選より12名➡10名へ



- **報酬 現状維持**
- **議会力強化のための議会活性化策の実施**

大潟村議会議員選挙が２回連続で無投票となり、議会や村政への関心の低下や議員の成り手不足などの課題があります。

議会として、村民に信頼される議会を目指し、成り手不足や人口減少など時代の変化に対応するため「議会改革調査特別委員会」を設置し、約２年に渡り議論を重ね最終報告を取りまとめました。

大潟村議会改革調査特別委員会の概要

委員会の期間　令和６年９月27日設置～令和８年９月８日最終報告

委員の定数　11名　※議長を除く全議員

調査事項　① 議員定数に関する事項　② 議会議員報酬に関する事項
③ その他、議会運営に関する事項

特別委員会開催日及び協議事項

令和６年11月より全21回の委員会を開催し議論を行い、定数及び報酬、また議会活性化策などの議会改革について議論をおこなってきました。

検　討　結　果

◆定　数　定数については、現在の12名から2名減の10名が望ましいとの結論に至りました。

◆報　酬　報酬に関しては、現状維持が望ましいとの結論に至りました。
なお、2年後の改選前を目途に他の議会の動向や議会活性化策の進捗状況と議員の活動時間の状況、物価などを含む社会情勢を考慮して再度検討を行います。

◆議会活性化のための活動

議会活動の質の向上や村民への広報及び村民からの意見聴取などを通じて村民の議会への関心を高めるための取り組み（以下、議会活性化）を行う必要があるとの結論に至りました。そのため、改めて議会基本条例の理念及び各条文などに基づき、議会活性化を行うことを検討し、最終的に11項目の新たな議会活性化策を行うこととしました。

【主な議会活性化策】

- 模擬議会の実施
- 村民との出張懇談会の実施
- 傍聴してもらいやすい議会日程への変更
- 動画配信の拡充
- 常任委員会ごとの政策提言
- 委員会質問の実施
- 議員間での自由討議の導入　など

※詳細はホームページに掲載の最終報告書全文に掲載しています。

◆条例改正

議会改革調査特別委員会の最終報告に沿って、大潟村議会基本条例及び大潟村議会議員の定数を定める条例を改正します。（令和８年９月議会において改正済み）

今後の見直しについて

今後も継続して、議会のあり方や議会活性化策について見直しを検討します。

議会改革調査特別委員会　最終報告の全文はホームページで掲載しています

議会改革調査特別委員会　最終報告は大潟村議会ホームページでご覧いただけます。
最終報告に至った経緯などの資料もあわせて載せています。

https://www.vill.ogata.akita.jp/archive/p20250709110747

大潟村議会　検索

討論 議員定数削減案に

反対討論



齋藤　牧人
議員

定数削減は議員の成り手を減らす

以下の点から定数削減に反対する。

1. 年齢及び性別で見れば議員の分散度合いは十分とは言い難く、議員定数の削減は若手および女性議員の成り手を減らす恐れがある。
2. 定数削減によって議員一人当たりの負担が増すことになり、議員の成り手不足の原因となる。
3. 議会が議員の成り手を育成しない限り、定数を削減しても新規の成り手は生まれず、一度や二度は選挙になったとしても再び無選挙となる恐れがある。

賛成討論



菅原　史夫
議員

村民の負託を受けてこそ議員

2期連続で無投票。民主主義の根幹である選挙がこのような結果になったことは非常に大きな問題である。これは有権者の選ぶ権利を奪っていることでもある。議員は有権者の負託を受けることが本来の姿だ。

まずは20年以上見直されていない定数を将来を見据えて考える必要がある。

昨今我が国の特に地方の人口減少が急速に進んでおり村もその例外ではない。また住宅地は総合中心地に集中しており、他の地域のように住宅地が点在していないので住民とのコミュニケーションは十分図れる環境である。よって議員数削減はやむ無しと考える。

反対討論



松雪　照美
議員

議席を目指す人を増やす改革を

2期連続無投票になったから定数を減らすことと、議員のなり手不足を解消し選挙にすることは同じ問題ではない。定数削減によって選挙が実現するという明確な因果関係が実証されないまま議会の規模だけを縮小することは意見の混同に当たると考える。

むしろ、議会が取り組むべきは、議会活動の透明化、若者や女性をはじめ、多様な方々が参画できる環境整備、そして、立候補における不安を取り除くことである。

人口減少・農業政策・経済・福祉・教育・防災・上下水道・公共施設・脱炭素政策など、課題が複雑化する今だからこそ、十分な人数と多様な視点が必要である。

2期連続無投票という事実を重く受け止めているからこそ、定数を減らせばよいとの最も簡単な方法で結論を急ぐのではなく、議席を目指す人を増やす改革こそが本来進めるべき議会改革であると考える。

よって、議員定数削減案に反対する。

賛成討論



大井　圭吾
議員

人口に適した議員数を

日本国内の人口3千人以下の町村で、議員の定数が12人以上なのは大潟村だけであり、農業を営むための地として誕生した村の産業状況や居住環境等を考慮すると、それ以上の必要性は益々見当たらない。

例え人数が多くても、議員としての責任を担保できる人が集まらないと他の町村よりも人数を多くする意味がないとも考える。

以上のことにより、私は本議案に賛成する。

反対討論



三村　敏子
議員

村民の意見反映に12人は必要

今回議員定数について検討したのは、2回連続無投票となったことが、一番大きな要因だった。しかし過去2014年は15人、2018年は14人立候補している。一度削減してしまうと、定数を増加させることは難しい。

いまだ女性の議員は12人中3人で25%、また60歳以上の議員が半数を占めている。多様な村民の意見を反映するために、議員数12人は必要である。

9月定例会

令和７年度 一般・特別・企業会計決算を認定

令和８年度 補正予算・条例改正等可決

可決した補正予算の主な事業

農業支援サービス サポート事業 1,723万7千円

３事業所
汎用コンバイン２台
ドローン１台

〈関連ページ：P10〉



温泉保養センター施設整備事業

雨水排水改修工事 475万1千円

〈関連ページ：P10〉

交流宿泊等誘致事業 330万円

宿泊助成を活用したスポーツ・文化・視察活動宿泊が８月末時点で当初予算の500万円弱の支出見込みとなったため、今後の利用見込み、330万円を増額補正する。



令和７年度大潟村歳入歳出決算

会計名		決算額	
一般会計	歳入	47億2,521万円	（前年度比△12.1%）
	歳出	44億9,830万円	（前年度比△13.1%）
	差引残額	2億2,691万円	（前年度比＋13.0%）
特別会計※5会計	歳入	16億2,979万円	（前年度比＋ 3.2%）
	歳出	15億4,781万円	（前年度比△ 1.1%）
	差引残額	8,198万円	（前年度比＋476.3%）

会計名			決算額
企業会計	簡易水道	収益的収入	1億8,324万円
		収益的支出	1億2,004万円
		資本的収入	6,734万円
		資本的支出	8,249万円
	公共下水道	収益的収入	1億4,569万円
		収益的支出	1億3,377万円
		資本的収入	929万円
		資本的支出	4,516万円

令和7年度

歳入歳出決算特別委員会

決算特別委員長　黒　瀬　友　基

議会事務局・総務企画課・税務会計課部門

問　生態系公園が村に移譲されたが運営の評価と今後の展開は。

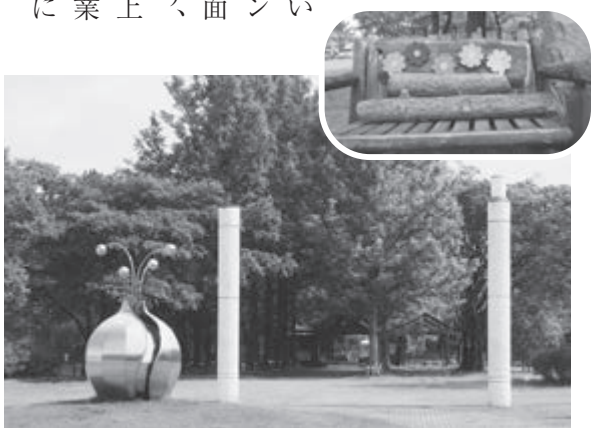
答　7年度が村による管理の1年目だが、6年度以前から引き続きイベントを開催し、多くの方に来ていただいた。公園で実施する各種イベントは、大潟村に人を呼び込む面で必要な機会だと捉えており、今後は旧温室の整備を進めた上で、経済効果や周辺の民間事業者などにも影響を及ぼす施設にしていきたい。

問　職員研修の内容は。

答　講師謝礼が発生する研修として、人事評価制度に関する研修とメンタルヘルス研修を実施している。大潟村に限らず、多くの自治体で職員のメンタル不調を訴えるケースが増えていることから、このような研修を実施している。

問　マイタウンバスの現在の利用状況は。時間帯によっては座れないと聞いているが、村の考えは。

答　7年度の広域マイタウンバスの輸送人員は延べ5万3,872人で、6年度と比較して2,135人増加している。特定の便の乗車率が高いという状況であるが、運行事業者である秋田中央トランスポートは人件費、燃料費、車両維持費の高騰により、近いうちに運賃の値上げについて協議したいとしており、増便や特定の便を2台体制にすることは非常に難しい状況である。運行事業者と連携し、安全管理について引き続き対応していく。



生態系公園の今後の活用は

教育委員会部門

問　子ども園使用料の大幅増の内訳は。

答　農家の収入増により階層が上がったための増である。

問　こども園の、0歳児から2歳児までの保育料を村の事業で無償化した場合、保護者の所得が上がると、村の負担が増えるのか。

答　その通りである。

問　花いっぱい運動の8年度の定植状況は。

答　3住区において植えるのをやめている。

問　教育ローン利子補給事業と、奨学金の貸与事業の実績は。

答　7年度利子補給事業、補助金の対象者は17名。奨学金の借り入れ実績は13名である。

問　子ども海外交流事業は当面の間、継続するのか。

答　今後も継続の方向である。できれば双方向の交流を望んでいる。



コミュニティ活動のあり方は

生活環境課部門

問　排水機能改善事業について、排水路の調査の状況は。

答　昨年度の結果で滞水箇所が明確になり、雨が止んでから約2時間で排水機能が改善されることが判明している。今年度は、中学校グラウンド北側の滞水個所で側溝内の高圧洗浄を実施し、排水機能の改善を行う。村内の排水機能がどのような動きをするのかという全貌がまだ見えない状態であることから引き続き調査をしていく。

問　消防団員の減少対策は、現役の団員だけに任せるのではなく役場も一緒に取り組むべきではないか。現在の人数でも災害時にしっかりと機能できるよう、組織体制そのものの見直しを検討してほしい。

答　消防団の定数は67名、実員数は43名となっている。ここ数年、新入団員より退団者の方が多い状況が続いており、定数削減を含めた議論や、現実的な人数で機能できる組織体制のあり方について今後消防団と打ち合わせや協議を進めていく。

問　村道（砂利道）保守管理事業について、不用額が多く発生している。村民から補修の要望が出ている中、他の補修が必要な箇所に予算を回すなどの議論や案はなかったのか。

答　契約に係る請負差額が不用額として発生しているが、7年度に予定していた整備計画はすべて契約内容に盛り込まれており、この差額を使ってさらに別の場所の補修を追加で行う予定はなかった。委員からの意見を重く受け止め、秋の長雨の時期や来年度の春先に向けて砂利道の改修等にしっかり対応できるよう、十分に道路状況を確認しながら修繕に努めていく。



補修の要望が多い砂利道

福祉保健課部門

問　中長期在留者居住地届出等事務費の内訳は。

答　外国人が村に住む際の事務費で、今年8月末時点で男性4名、女性7名である。

問　ネウボラ事業の実績は。

答　産後ケア事業と子育て世帯訪問支援事業を行っており、7年度利用者は産後ケア4名、訪問支援9名である。

問　マイナ保険証の利用状況について、資格確認書の発行状況は。

答　マイナ保険証の利用率は最新のもので80％となっており、それ以外の未登録者には資格確認書を交付している。

問　診療所特別会計における診療収入は、診療内容や病気等の要因で変わるのか。

答　診療報酬の改定により請求できる管理料減が要因であることと、医師の異動による指導方針、治療方針の変更も要因の一つである。

問　国保特別会計における県繰入金の予算額9，300万、決算額7，700万の差額の理由は。

答　事務的な積算誤りと実績確定に伴う積算によるものである。

問　介護予防事業で、元気はつらつ教室の利用実績は。

答　介護予防教室の令和7年度実績は47回開催、延べ参加者数1，396人となっている。

問　ひだまり苑特養の入所待機者数は。

答　入所できるのは要介護3以上で、待機者数は20名である。



大人気の元気ハツラツ教室

問　後期高齢者医療保険料で普通徴収から特別徴収への移行はできるのか。

答　普通徴収から特別徴収へ変更はできないが、逆の場合は申請で可能である。7年度実績はない。

農業委員会・産業振興課部門

問　情報発信強化事業の成果は。

答　各ＳＮＳを活用した情報発信、ふるさとＣＭ制作、観光モニターツアーを実施している。ＳＮＳのフォロワー数は増えており、大潟村の魅力を見てもらう機会は増えていると認識している。また、観光モニターツアーでは10月にベジトレツアーと題して、博物館で羽釜ご飯炊き体験や野菜の収穫を行うなど親子で大潟村を堪能してもらう企画を実施し、４家族12名が参加している。次年度以降も大潟村らしい観光活動を検討していく。

問　温泉保養センター費は毎年修繕等で多額の費用を要しているが設備更新の方針は。

答　温泉保養センター、ふるさと交流施設、産直センターについては、５年度に長寿命化計画を策定しており、緊急度が高いものから予算化し施設整備を行っている。

故障・不具合が発生した場合は優先順位をその年度ごとで精査した上で、予算編成時に検討して最終的にその年度で実施する工事を決めている。



観光モニターツアーの収穫体験

問　住区および格納庫やハウス周辺の危険木の処理はどのように行っているのか。

答　危険木の除伐事業については、住区および格納庫・ハウス団地についても順番に対応していく予定になっているが、計画した時期まで待てないと判断した場合には緊急で対応している。

総　括　質　疑

問　総合中心地内の排水機能調査について、冠水しやすい場所、排水機能が悪い場所等の調査を継続すべきでは。

答　生活環境課長　現在は、村の側溝等の排水能力の見極めに過ぎないため、来年度に向けては、県や土地改良区、コンサル等の協力を得て、課題や問題点の整理、検討を進めて行く。

問　マイタウンバスの利用促進については、観光、イベント等へのバスによる来村、村内宿泊などを検討してみては。

答　村長　これまでは、村民が村外にでるための足として見ていたが、今後は観光面でも使ってもらえるよう取り組んでいきたい。

問　上水道、公共下水道の企業債について、流域下水道債ということで繰り上げ償還できないルールだったのか。あえて、40年かけて返済する大きな理由は。企業会計に移行する前に、特別会計の段階で一度整理することも可能だったのではないか。

答　総務企画課長　下水道事業は、２年前から企業会計になっている。現実問題として、企業会計にそこまで潤沢な資金はない。下水道は社会インフラであり、長期間にわたって使用されるものであることから、世代間で公平に負担する考え方が適切であると考える。

問　村内各団体への補助金について、しっかり活動している団体に補助する形に見直すべきでは。

答　村長　村内各団体の会員数減少に危機感をもっている。より充実した活動ができるよう支援していきたい。



来村者増加にもバス活用を

９月定例会
議会常任委員会審議

●各常任委員会での質疑応答の主なものを掲載●

総務福祉教育常任委員会

委員長　松橋　拓郎

○令和８年度大潟村一般会計補正予算案

総務企画課部門

問　**村で利用できるようになる窓口ＤＸサービスは具体的にどのようなものか。**

答　マイナンバーカードを読み込み、タブレット上の操作だけで手続きが完結する「書かない窓口」を目指している。今年度は、システム導入の前提となる業務改善のアドバイスを受ける。業務改善無しにシステムだけを導入してもうまくいかないことが多いため、伴走支援による基盤づくりが必要と考えている。

福祉保健課部門

問　**戸籍住民基本台帳費の委託先はどのような業者を想定しているか。**

答　氏名の振り仮名初期登録作業の委託先について、住基ネットのシステム内部に関わる操作となるため、現在システムの保守を委託している業者への随意契約を予定している。

問　**戸籍住民基本台帳費について、氏名の振り仮名登録は、マイナンバーカードに記載される氏名の振り仮名に関するものか。国が進めるローマ字表記や西暦の表記も同時に可能になるという事だが、これらは一括して対応できるのか。**

答　氏名の振り仮名が登録されることに伴い、マイナンバーカードへのローマ字表記についても順次対応していく。マイナンバーカードの新デザイン導入に伴い、ローマ字表記も可能になると認識している。



ますます便利になる行政手続き

教育委員会部門

問　**学校給食等の業務委託料について、次回のプロポーザル選定の際、食材選びなどの安全面についても条件に含めては。**

答　食材選びについては現在のプロポーザルの要件には直接含まれていない。献立の内容については栄養教諭と相談しながら決定していく。

問　**給食等業務委託のプロポーザルはいつ頃実施する予定か。**

答　議会の承認が得られ次第、10月以降に公告を行い、11月中に実施したい。年内には候補者を決定する予定である。

問　**学校給食について、人件費の上昇が委託料増額の主な要因との事だが、共同調理場は何名体制で運営されているのか。**

答　仕様書上の原則として6名体制であり、献立の内容に応じて6～7名体制で対応している。また、こども園においては仕様書上の原則を4名以上としており、同様に献立に応じて4～5名体制である。

生活産業常任委員会

委員長 黒瀬 友基

○令和8年度大潟村一般会計補正予算案

生活環境課部門

問 東5丁目地内村道補修工事の着手時期は。

答 工事に係る補正予算が議決された後、10月初旬から中旬に着手し、約2週間で終了する予定である。

問 ①地上の雨水も排水できるようU字溝としてはどうか。
②昨今の集中豪雨に対応するため排水管の径を大きくしては。

答 ①屋根からの排水を前提としており排水の勾配を取るため、また、利用者のある施設であるため見栄え的にも地中埋設管が望ましい。
②現状のサイズでも近年の大雨でトラブルはなく、また屋根からの排水管の太さはそのままのため、工事を行う埋設管のみ太くしても効果が得られないと考える。

産業振興課部門

問 農業支援サービスサポート事業費補助金の申請者は。

答 農業法人1社、及び複数の農業者による任意団体が2団体である。

問 温泉保養センター雨水排水改修工事について。

7月臨時会　財産取得・補正予算　可決

【財産取得】

●小型ロータリー除雪車購入
5,324万円

【補正予算】

●物価高騰重点支援給付金事業
434万4千円

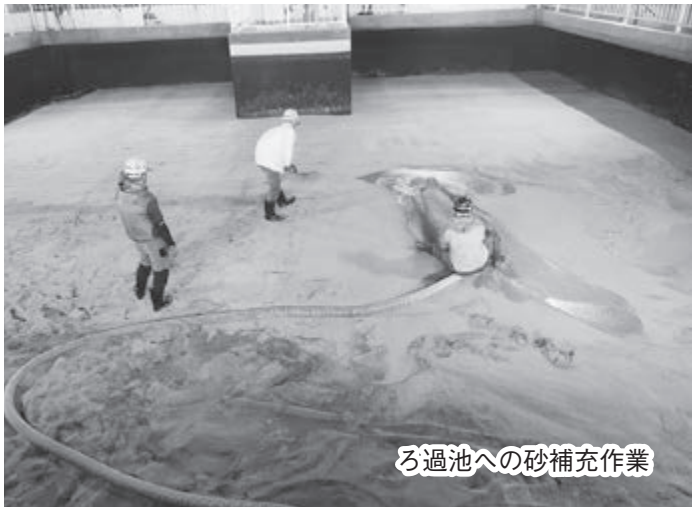
8月臨時会　補正予算　可決

●浄水場ろ過池補砂工事
4,950万円

より良い浄化を進めるため、次年度予定していた緩速ろ過池のろ過砂の補充工事を前倒しで行う。



ろ過池補充用砂



ろ過池への砂補充作業

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会が、９月26日、27日の日程で行われました。

全国各地域にボート場を有する全国31の加盟市町村が集い、交流促進と地域振興を目的に毎年行われています。

大潟村からは２チーム出場し、議員チームは、３位となりました。



議員とこども園職員との懇談会

８月３日　公民館大集会室において、議員とこども園職員・教育委員会との懇談会が行われました。保育現場の現状と課題を共有し、こども家庭庁の掲げる「こどもまんなか社会」の実現に向け、保育行政と家庭教育の進むべき方向性を共有することを目的とし行われました。



令和８年９月から　委員会構成が変わりました

【令和８年９月８日～令和10年９月４日】

【議会委員会構成】

委員会／役職	総務福祉教育委員会（定数６名）	生活産業委員会（定数６名）	議会運営委員会（定数４名）	広報編集委員会
委員長	松橋拓郎	黒瀬友基	大井圭吾	三村敏子
副委員長	齋藤牧人	大井圭吾	工藤勝	松雪照美
委員	松本正明	菅原アキ子	松本正明	黒瀬友基
委員	菅原史夫	川渕文雄	黒瀬友基	松橋拓郎
委員	松雪照美	三村敏子		菅原史夫
委員	工藤勝	丹野敏彦		齋藤牧人
委員				丹野敏彦

請願や陳情、要望書の提出について

行政について意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

請願や陳情、要望書の12月村議会定例会での審議を希望される方は、11月17日㈫までに議会事務局へ提出をお願いします。

書き方等、詳細についてはホームページをご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

◆問い合せ 議会事務局

TEL　45－2587　FAX　45－2266　https://www.vill.ogata.akita.jp/genre/parliament

村政を問う



菅原アキ子 議員

詳細はコチラ

Q 安全で安心できる水の供給を

A ろ過機能の強化を図る

問 安全で安心できる水の供給は、入植者の悲願である。男鹿市と大潟村の間で、緊急時の水道水供給に係る協定を締結することになった。

①7月12日頃から水道水ににおいや着色などが発生したが、今後の対策は。県からの注意喚起などは、なかったか。

②においや着色は定期点検では、見つけにくいのか。

③男鹿市からの緊急時整備費用は。

④運用開始の予定は。

答 村長 ①アオコに関する情報は、県から通知されていない。ろ過機能の強化を図るとともに、日本簡易水道協会等の意見を参考に改善したい。

②原水の水質確認は、目視や採水検査であり把握は困難である。

③概算で約2億円を見込んでいる。

④国の補助事業が採択になる条件が整えば、早急に着手したい。



より良い水質を

Q 「高濃度乳房」受診者通知の対応は

A 具体的な方針等は、まだ示されていない

問 厚生労働省は、今年の夏以降、検診で乳がんの病変を見つけにくい「高濃度乳房」かどうかについて、マンモグラフィーの受診者へ通知することを市区町村に要請するとしていた。

村は、どのように対応されるのか。

答 村長 様々な意見が出され、国において継続して審議されている状況であり、現時点では具体的な方針等は、まだ示されていない。



大井　圭吾 議員

詳細はコチラ

Q 倒木の危険性のある樹木の早期対策を

A 極めて緊急性の高いものを優先的に対応

問 ポプラ等の倒木を懸念している村民の不安を払拭する為に、早期の対応が必要ではないか。

①倒木した場合にハウスや建物への被害、または道路に倒れてくる等の危険性のある樹木はどの程度あると把握しているのか。

②非常に大きくなった木や老木を今後どのように対応していくのか。

答 村長 ①村では整備計画をもとに協議をしてるが、場所ごとの危険度合いの判定等までには至っていない。

②財源の状況もあり、倒木したものもしくは極めて緊急性の高いもの、マツクイムシの被害木を優先的に対応している状況である。



村民が不安に感じる危険木

Q 保証人を必要とする制度の改定を

A 墓地使用者申請に保証人は必要

問 墓地使用者の名義を変更する際、保証人が必要となっているが、今の時代背景や村民の利便性を考えると必要ないのでは。

答 村長 保証人を置かない場合、何らかの理由により墓地公園の区画に墓石を残したまま使用者に連絡がつかなくなり、墓地使用者が行うべき墓石の撤去等を村の公費で補填せざるを得なくなることから、保証人を置くことは必要であると考えている。



三村　敏子 議員

詳細はコチラ

Q 小・中学生の学校生活の改善を

A 学校と協議する

問 ①熱中症対策のためウォーターサーバー設置を。
②登下校時にランドセルキャスターやキャリーを使っては。
③学校内の掃除負担軽減を。
④温かみのある学校環境整備として子どもたちがくつろげる場を作っては。

答 教育長
①十分な熱中症対策が図られている。
②キャリーやキャスターの使用を禁止していない。
③小中学校と協議し、適切な清掃方法を検討する。
④学校とも共有し、良い環境づくりに努める。



重そうな荷物

Q こども園の正職員保育士を増やしては

A 体制の維持に努める

問 正職員の保育士が少ないため、農繁期の祭日や日曜保育ができないのでは。正職員保育士の求人を。

答 教育長
職員が安定的に確保されることが重要であると認識している。

Q 村長が㈱オーリスと㈱ルーラル大潟の社長を退任しない理由は

A 重要な局面である

問 村出資法人への関与に関する条例では「役員就任からの撤退、退任が可能とされるものについては、順次、退任する。」となっているが。

答 村長
㈱オーリスは脱炭素先行地域事業の最中であり、極めて重要な局面である。㈱ルーラル大潟は困難な課題に直面している。村の意思決定と経営を直結させ、迅速に改革を推進する必要がある。



松雪　照美 議員

詳細はコチラ

Q 災害時における村の危機管理体制について

A 求められる災害対応を検討していく

問 近年、全国各地で自然災害が頻発化・激甚化するなか、「自助・共助・公助」をどのように組み合わせ実効性ある防災体制を構築していくのか。本村は干拓地という特殊な物理的条件下にあるが、その対応は。
①今回の地域防災計画改訂における複合的被害の想定内容は。
②発災時72時間を村だけで持ちこたえられるのか。
③防災用備品は足りているのか。
④災害時の情報伝達について、情報の複数伝達手段は確保できているのか。

答 村長
①3年3月以降に県から提示された改訂部分や法令を反映させるものとなっている。発災後のインフラ被害の対応については、応援協定を締結した行政機関や企業等、様々な団体による支援も含め対応する。
②発災後の初動対応については、発災規模により直ちに災害警戒部9人、災害対策部22人、また災害対策本部54人を設置する。これは、夜間・休日・冬期間において同様である。
③災害備蓄品については、発災から3日間、発災直後の生命の維持と生活の安定に欠かすことのできない品目を、県、および各市町村で定められた品目・数量を備蓄している。
④来年度運用開始を目指している防災行政無線機、LINE、村HPに加え、Yahoo!防災と連携した情報配信を行う予定である。



備蓄倉庫機能を備えた防災センター

村政を問う



黒瀬　友基 議員

詳細はコチラ

Q これからの図書室のあり方は

A 中長期的には他の公共施設の集約も踏まえ検討

問 **図書室に求める機能、村の他の施設との連携や機能分担なども総合的に考えて、この先の「大潟村における図書館・図書室のあり方」を検討していくべきではないか。**

答 教育長 他施設との連携や機能分担は、限られた資源を有効活用する上で非常に重要な視点であると認識しており、村内にある干拓博物館と子育て支援センター、小中学校図書室など専門的な機能を持つ施設の役割を見極めながら連携を図ることが重要である。

現在の公民館内にある図書室の規模やスペースの制約上、直ちに新たな機能を大規模に加えることや大幅な配置換えを行うことは非常に困難であるのが実情であり、当面は既存の図書資産の有効活用と日々の来館者や学習スペースを活用する中高生等の声を丁寧に収集しながら現在の図書室の利用改善に努める。

中長期的な展望としては、今後、村内の医療・福祉施設をはじめとする他の公共施設の老朽化が進むことを鑑み、将来的に公共施設全体の再編や集約・統合を検討する時期が到来するタイミングを見据え、他施設との統合や配置の再検討を行う中において、大潟村にふさわしい図書室・コミュニティのあり方を、村民の意見を伺いながら、ハード・ソフト両面から総合的に検討したいと考えている。



体育館改修の次は図書室を



齋藤　牧人 議員

詳細はコチラ

Q 先進的なクマ対策の実施を

A 周辺自治体の活動を参考にしていく

問 **村内のクマ出没に対し、①住民意識の向上 ②侵入経路などクマの生態調査 ③ＩＣＴ化などの先進的な対策を早期に行うべきではないか。**

答 村長 大潟村では農作業中のクマとの遭遇を防ぐことを最優先に対策を実施している。捕獲用のオリに遠隔監視装置をつける、暗視カメラの導入といったＩＣＴ化も行っているが、周辺自治体の活動を参考に、現在の大潟村の状況に合った対策を行っていく。



遠隔監視装置付きオリ

Q Ｊクレジット利用の進捗並びに成果は

A Ｊクレジットの利用は昨年比で倍増

問 **本年1月22日フェイガー社と脱炭素活動について包括的な提携を結んだとのプレスリリースがあった。Ｊクレジットを利用することで脱炭素活動の推進が直接的に農家の利益になるとのことだが、進捗並びに今後の展開はどうか。**

答 村長 中干期間延長の取り組みは令和2年から面積で12％増加し、Ｊクレジット活用も昨年から倍増している。今後はオーリスが提供する燻炭ペレットの活用や企業連携による手続きの簡素化を通して脱炭素活動を推進していく。

村政を問う



松本　正明 議員

詳細はコチラ

Q 村職員の給与水準は

A 適切な処遇と待遇の確保に努めていく

問 本村の一般行政職員の給与水準は県内25市町村中17番目に位置付けられ、ラスパイレス指数（国の給料月額を100とした場合の比較指数）は95・4で、県内の町村平均約95・7を下回っている。本村の一般職員給与水準が全国および県内においても低位にある現状を、村はどのように認識しているのか。

答 村長 給与制度の改定については、将来にわたり長期的に安定して運用できるかどうかが極めて重要であり、給料の引き上げや独自の職員手当の導入などは、一時的な効果が期待できる反面、恒久的な財政負担の増大というリスクを伴う。一方で、処遇の適正化を怠ることは、結果として優秀な人材の確保や若手職員の定着を一層困難にし、行政サービスに影響を及ぼす恐れがあるため、財政の健全性を維持することと、職員が意欲を持って仕事ができる環境を整えることの双方のバランスを意識した慎重な対応が求められる。他自治体での事例も参考にしながら研究を深め、将来にわたる優秀な人材の確保と定着に向けて、職員一人ひとりが村の職員として誇りと意欲を持って職務に専念できるよう、適切な処遇と待遇の確保に努めていく。



職員が意欲を持って働ける職場に



工藤　勝 議員

詳細はコチラ

Q 老朽化した村民球場の改修を

A 具体的な計画はまだない

問 村民球場は昭和55年の建設から46年経過しており、老朽化がかなり進んでいる。その都度修繕をしながら利用してきたとは思うが、現在はバックネットに穴が開き、外周フェンスの支柱が折れている箇所や外野の壁に穴が開いている箇所等もあり、大規模な改修が必要な時期に来ている。競技の運営上必要不可欠となる改修や選手・観客の安全面を優先し、対策を講じる必要がある。
①村民球場の改修の計画はあるのか。
②村民球場全体がどういう状況なのかを専門家に確認してもらう必要があると思うが。

答 教育長 ①具体的な計画はまだ作成していない。施設の状態を考えると、大規模改修か建て替えの可能性が高いことから、その方針が決まるまでは安全面を優先し、最小限の修繕で進めている。今後については、国営事業の村負担や財政の将来見込み、他の公共施設の改修計画など様々な要素を踏まえて判断していく必要があると考えている。
②5年度に村民体育館の建て替え検討の際に、設計業者から村民球場についても現地確認をしてもらい、全面的に改修の必要があるといった意見であった。



どうする村民球場

一般質問

村政を問う



松橋　拓郎 議員

詳細はコチラ

Q 大潟村における「こどもまんなか」とは

A 村の特徴を活かしながら、丁寧に寄り添って行きたい

問 「こどもまんなか」の理念に則り、教育委員会では子供が家庭で家族と過ごす時間を重要視しているようである。



大潟村らしい子育てのあり方とは

①子供が家庭で過ごす時間を長くしてもらうようお願いする事は保育の拡充と矛盾しないか。

②そのような発信により就労上やむを得ない家庭にうしろめたさを与えないか。

③長時間労働の解消など労働側へのアプローチも共に議論すべきでは。

答 教育長 村で生まれ育って良かった、子育てをして良かったと実感できる環境を目指している。保護者の負担軽減の為の支援を拡充していて独自路線ではない。その上で国でも示されている、可能な場合は家庭での保育を基本とするという原点に立ち返ろうとしている。自営業者が多いと言う特徴を踏まえ、保育時間を長くするだけではない家庭に応じた預かりの仕組みなどを提案している。長時間保育を否定している訳ではなく、保護者にうしろめたさを抱かせてしまったとすれば本意ではなく、丁寧な伝え方に努めたい。

家庭への直接的な支援を行いながら、自営業を含めた職場環境の改善については村の関係部局とも情報共有し、連携していきたい。

※この他に、【村の熊対策の今後について】も質問しました。

議員研修報告

町村議会広報研修会

●講演　「議会の見える化＆住民との信頼関係」
芳野政明氏

３時間休憩もなく議会だよりへのアドバイスはもちろん活発に活動している議会についてお話頂いた。住民が主体の自治になるには議会として意見交換会等住民との対話が必要。議員のなり手不足解消では、政策サポーターや議会モニターとして参加頂き、その中から議員に立候補する方が出ている事例などもあった。（９月25日開催）



町村議会議員研修会

７月30日に秋田県市町村会館にて秋田県町村議会議員研修会が行われた。

㈱廣瀬行政研究所の代表取締役　廣瀬和彦氏による「適正な議員定数の決定手法を考える」、東京大学大学院の特任教授・名誉教授　鈴木宣弘氏による「日本の米政策について」両講師による講演が行われた。



総括質疑

総括質疑とは

議会の初日に行われる村長説明、提出議案、委員会に付託された議案などに対して疑問点をただす。

避難所設置訓練を

問 **①今回の防災訓練で課題はあったか。②避難所設置の訓練も必要では。③内水氾濫を想定した訓練を行っては。**

答 生活環境課長 ①今回の課題調査は、これからである。過去には、ＡＥＤ講習にアルミマットや毛布を用意することや、職員が避難者数を確認できるような対応をする等の課題が出て対応してきた。②福祉避難所の開設訓練は行っている。しかし災害発生初期における避難所の設置運営訓練は具体的な訓練が不足している。現在進めている防災計画に訓練のあり方を検討したい。③急激な大雨に関し正確なデータを集め、内水氾濫が想定される場合、どのような訓練をどのタイミングですべきか、検討していく。



防災訓練の見直しが必要では

村政報告のあり方は

問 **農作物の生育状況をここまで詳しく報告する必要があるか。逆に脱炭素事業について最重要事業であるにも関わらず、村長説明がないのはどういう考えか。**

答 村長 農産物生育自体が村にとって非常に重要な要素である。今後も続けていきたい。また自然エネルギーに関しては、村広報でもお知らせしている。特に新しい内容がなかったためである。今後は報告を行う。

消防操法大会で使用する備品の購入を

問 **テントが老朽化している。室外専用椅子の購入を。**

答 村長 来年度予算において、テントや椅子を消防団で使える備品の位置づけで検討したい。

収入保険は

問 **収入保険加入者数と米の減収による補償は。**

答 産業振興課長 ７年度の加入は１４８経営体。今年と去年との米価の価格差での補償については、まだ把握していない。農業共済に確認し、みなさんにお知らせしたい。

水道水異臭、村民への伝達は適切だったか

問 **村民への伝達が遅かったのではないか。村民への連絡を今後どのようにする考えか。**

全国を調べるとカビ臭などの水道局の広報事例がある。参考にしては。

答 生活環境課長 不安に思った住民が多数いる中で、お知らせが遅れたことは、申し訳ないと思っている。今後は速やかにお知らせをする。他の地域の広報を研究し、速

やかで適切な広報に努める。

答 村長 防災行政無線やＬＩＮＥを含め、チラシや広報など重要度に応じて使い分けて周知していく。

緊急時の水道水供給協議が進んだ理由は

問 男鹿市とは水に関して色々歴史があったと思うが、今回協議が再開されたのは、国の政策によるものか。

答 生活環境課長 国では水道の広域化を進めているが、それとは、まったく別である。昨年の渇水を受けて男鹿市とのコミュニケーションをとる中で、男鹿市も水供給の可能性について検討し回答していただけたものである。

二十歳の集いから大潟村へ

問 二十歳の集いを機会に、将来大潟村に住むことが選択肢になるようなことを話されているか。

答 教育長 村長の祝辞の中でそのような話が述べられている。ふるさと会を説明するときにも宣伝している。

体育館整備事業での不適切事務への対応は

問 一般質問への村長答弁では「重く受け止めている」とのことだが、具体的な対応や処分についての説明が十分とはいえない。

答 村長 報告書を当該職員と次長から提出いただいている。一人の職員の責任という事ではなく、組織として対応していく必要がある。今後検討していく。

村内スポーツ施設のアピールを

問 ①漕艇場における合宿受け入れは、延べ５団体、１２１名の合宿があったが、ボート場に限らず水上スキー場等スポーツ施設がある。全国にアピールし村の活性化につなげては。②大会等で来村した方にふるさと納税のピーアールはできないか。

答 教育長 ①地域おこし協力隊が５月に事前体験視察というモニターツアーをおこなったことの効果が大きかった。良い施設はあるが、宣伝に関しての具体的案はまだない。

答 総務企画課長 ②納税者の地方を応援する意識にも合っているので、是非来年以降検討する。

体育館は避難場所になるのか

問 体育館は避難場所になるのか。災害時の非常用発電機の設置場所は、水害時水が入らない場所か。

答 教育次長 避難場所となる。発電機は1階機械室に設置し、ある程度の高さをとった位置にする。



きれいに整備されているスポーツ施設

体育館のトレーニング機器はどうなる

問 備品やトレーニング機器の購入予定及び金額は。艇庫に設置されているトレーニング機器は。外構工事は。

答 教育次長 備品は、バレーボールのポールとネット、卓球台、机、事務機器、ソファ等である。艇庫に設置されているトレーニング機器の移設に加え、ウォーキングマシーン、筋トレ用マシーン等を購入予定である。金額は積み上げ中で未定である。外構工事は今回の工事の中に含まれている。西側駐車場は植栽している木を取り払い、白線を引き直す。

再生産可能な指標価格は

問 再生産可能な指標価格２万５３５円は１ha以上３ha未満の農家のデータが使用されている。面積が大きくなればコストが下がる。この金額を使って要望書を提出したのか。

答 村長 国の指標価格であり、この価格を考慮して要望した。

大潟村中学生議会開催します

傍聴可能

日　　時▶**11月13日(金)** 午後１時35分～３時25分

対　　象▶大潟中学校３年生（24名）

会　　場▶大潟村議会議事堂

当日進行▶議長に生徒代表２名、グループの代表者が、一般質問形式で発表・質問をし、村長などが答弁を行います。

目　　的▶中学生が地方自治や政治の仕組みを学び、村政への関心を深め、同時にこどもの柔軟な発想や視点を村づくりに活かし、社会的活動への参画意識の向上を促進するため。また、村民が議会へ興味関心を持ち、改めて大潟村を考え、議員のなり手不足解消を図ると共に、議会の活性化を促進するため。



模擬議会事前レクチャー

７月14日、中学校にて生徒６グループごとに議員がアドバイザーとして加わり、村づくりへの提言について助言を行った。

9月議会　傍聴者アンケート

傍聴者アンケートの結果を報告いたします。２名より回答いただき、誠にありがとうございました。どうぞ皆様お気軽に傍聴にお出で下さい。

問１　本日議会を傍聴された理由を教えてください。（複数回答可）

- 今定例会に提出されている議案に関心がある　１名
- 議員の質問内容に関心がある　１名
- 議員の応援のため　１名

問２　発言の内容についてどう思いましたか。

議員の発言
- 理解できた　２名

村長などの発言
- 理解できた　１名
- あまり理解できなかった　１名

問３　今後も傍聴したいと思いますか。

- また傍聴したい　１名
- あまり傍聴したいと思わない　１名

なぜ、そう思われたのかお聞かせください。

＊自宅や他の場所で聴いてもいいが、村の現在がよく分かるから。

＊ルーラル・オーリスの経過に関しては、村長の回答は、村民重視ではないと感じた。

問４　議会・議員に期待することは何ですか。（複数回答可）

- 村政へのチェック　２名
- 積極的な政策提案　１名
- 村民の声の反映　１名

問５　本日感じたことや、村議会全般についてご意見がございましたら、ご記入ください。

＊村政報告があっさりしていたと思った。議員定数が減り、次に議会改革で検討するのは議員報酬に関してだと思うが、これも気になる部分である。

＊ルーラルの経営不振は、わが村に不相応な施設であることに起因しているだろう。オーリスによるエネルギー供給で経費の削減をとの意図もあっただろうが、施設の増加を伴うばかりで、泥沼化するおそれがある。根本を見つめ、過大な施設の縮小、あるいは閉鎖に向かうことも考慮してほしい。現村長、勇退時には、次の村長に負を一掃して村政を渡してほしい。水道と村道の整備に主力注入してください。



地域おこし協力隊
倉品　裕介さん

大潟村と水上スキーのこれから

大学時代、選手として出場していた水上スキーのインカレ。まさか数年後、その大会を大潟村で「迎える側」になるとは思ってもいませんでした。

水上スキーが縁で大潟村に移住し、今では競技だけでなく、その魅力を伝えることも私の仕事です。今年も「プールで水上スキー教室」は大盛況。インカレでは初めて県内のキッチンカーを誘致し、会場はこれまでにないほどの賑わいを見せました。

そして今、楽しみにしているのが、教室に来てくれた子どもたちから「大潟村出身の水上スキーヤー」が生まれること。いつか地元の選手が大潟村の水面を滑り、インカレ、そして水上スキー界を盛り上げてくれたら。そんな未来を思い描きながら、これからも活動していきます。

令和８年第４回（７月）臨時会審議結果一覧

【○】:賛成　【×】:反対　【議】:議長　【欠】:欠席
【棄】:棄権　【除】:除斥　【不】:議場に不在

議案等	議件番号	議件名	議決月日	議決の結果	評決者数	賛成者数	反対者数	松本正明	菅原アキ子	川渕文雄	黒瀬友基	松橋拓郎	菅原史夫	齋藤牧人	松雪照美	三村敏子	大井圭吾	工藤勝	丹野敏彦
当局提出	議案第35号	財産の取得について	7/24	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第36号	令和８年度大潟村一般会計補正予算案	7/24	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

令和８年第５回（８月）臨時会審議結果一覧

【○】:賛成　【×】:反対　【議】:議長　【欠】:欠席
【棄】:棄権　【除】:除斥　【不】:議場に不在

議案等	議件番号	議件名	議決月日	議決の結果	評決者数	賛成者数	反対者数	松本正明	菅原アキ子	川渕文雄	黒瀬友基	松橋拓郎	菅原史夫	齋藤牧人	松雪照美	三村敏子	大井圭吾	工藤勝	丹野敏彦
当局提出	議案第37号	令和８年度大潟村簡易水道事業会計補正予算案	8/24	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

令和８年第６回（９月）定例会審議結果一覧

【○】:賛成　【×】:反対　【議】:議長　【欠】:欠席
【棄】:棄権　【除】:除斥　【不】:議場に不在

議案等	議件番号	議件名	議決月日	議決の結果	評決者数	賛成者数	反対者数	松本正明	菅原アキ子	川渕文雄	黒瀬友基	松橋拓郎	菅原史夫	齋藤牧人	松雪照美	三村敏子	大井圭吾	工藤勝	丹野敏彦
当局提出	議案第38号	令和８年度大潟村一般会計補正予算案	9/18	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第39号	令和７年度大潟村歳入歳出決算認定について	9/18	認定	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第40号	令和７年度大潟村簡易水道事業会計の利益処分及び決算認定について	9/18	可決及び認定	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第41号	令和７年度大潟村公共下水道事業会計の利益処分及び決算認定について	9/18	可決及び認定	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第42号	大潟村固定資産評価審査委員会委員の選任について	9／8	同意	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第43号	令和８年度大潟村一般会計補正予算案	9/18	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員提出	発議第３号	大潟村議会基本条例の一部を改正する条例案	9／8	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	発議第４号	大潟村議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案	9／8	原案可決	11	6	5	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	議

編集後記　９月より委員会の再編成があり、メンバーが変わりました。議案を細かく議論したり、議会広報の編集をしたりする小グループのようなイメージです。議会広報を担当する広報委員会もメンバーが変わり、これまでと違ったメンバーで議会広報の編集にあたります。読者の側の時は分からなかった事も、編集の側になると見落としがちです。皆さんに伝わりやすい議会広報を目指しますので、独特な表現などよく分からない事があれば遠慮無くおっしゃってください。（議会広報編集委員　松橋　拓郎）